

令和3年4月30日

令和2年度米子市立山陰歴史館の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木 隆司 様

名 称 一般財団法人 米子市文化財団
報告者 所 在 地 米子市末広町293
代表者氏名 理事長 杉原 弘一郎

㊞

管理業務の実施状況	<p>1 建物及び設備、備品管理など</p> <p>(1) 日々の目視確認を行い、管理記録を適切に記録・保管し、建物及び設備、備品の維持管理に努めた。</p> <p>(2) 日常の館内外清掃及び除草作業を行い、敷地内全体が清潔に保たれるよう努めた。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策として、館内の換気や消毒を適宜実施、また、受付に検温器、アクリルパーテーションを設置するなど対策を講じた。</p> <p>2 市民サービスの向上及び運営</p> <p>(1) 鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館の相互割引を令和元年度に引き続き実施した。</p> <p>(2) 寄贈資料についての問合せに迅速に対応し、令和元年度に引き続き、寄贈資料の記録、目録作成・登録を順次行った。</p> <p>(3) 企画展開催時に『図録』を刊行した。</p> <p>(4) 企画展開催期間中の祝日の翌日の休館日を開館とすることで、観覧者の利便性を図り利用促進に努めた。</p> <p>(5) 館蔵品の貸出・利用許可等について、個人情報保護等を配慮しながらスムーズ且つ迅速に対応し、利用者の平等な利用に努めた。</p> <p>(6) 米子市や米子商工会議所、また市内施設と連携し夏のライトアップ事業を実施し、より親しみやすい施設の情報発信に努めた。</p> <p>(7) 令和元年度に引き続き、米子市等で組織する実行委員会と共催で「刀剣展」を実施した。関連事業として全国的に有名な講師を招いての「刀剣フォーラム」を実施し、普段来館者数の少ない若年層の来館も見られ、郷土の歴史について広く周知する機会とした。</p> <p>(8) 館蔵資料を活用し、市内商業施設と共催で「弓浜緋の歴史」展を実施し、普段、館を訪れることのない層にも郷土の伝統工芸の歴史を知ってもらう機会とした。</p> <p>(9) 新型コロナウイルス感染症拡大の中、公式Twitterで毎週末に「山陰歴史館いろはかるた」を連載し、自宅にいても郷土の歴史を知る機会を提供できるよう努めた。</p> <p>3 施設管理業務は別紙1のとおり</p>
施設の利用状況	<p>1 令和2年度入館者数は16,729人。内企画展観覧者は3,192人であった。企画展は4回開催し、通年で観覧者の来館が得られた。</p> <p>2 施設の利用状況は別紙2のとおり</p>
使用料(利用料金)の収入実績	施設の収入状況は別紙3のとおり

管理業務の実施状況

1 施設管理業務

実施月	主な事項
4月	屋上雨漏り防止処置、電気設備点検
5月	庭木の消毒
6月	二階バルコニーの雨漏り防止処置、電気設備点検
7月	庭木の剪定、庭木に殺虫剤の散布、外壁の一部欠落のため危険個所にカラーコーン設置、歴史館・旧庁舎間の渡り廊下の雨漏りのため屋上排水口の清掃、消防設備定期点検(第1回)、消防訓練(第1回)
8月	電気設備点検
9月	耐震調査のための壁面採取、一階女子トイレ前電灯のLED化工事、館長室及び二階展示室のコンセント修理、定期清掃(第2回)
10月	旧庁舎電気設備法定点検、庭木の剪定
11月	庭木の剪定、2階展示室の窓ガラスの交換
12月	電気設備点検
1月	定期清掃(第3回)、消防設備定期点検(第2回)、消防訓練(第2回)
2月	誘導灯のバッテリー交換、雨樋の修繕、電気設備点検
3月	二階バルコニーの修繕
毎月	夜間機械警備業務、日常清掃業務、

施設の利用状況

開館日数(常設展) 289日、企画展展示日数 182日

総入館者数 16,729人

2 事業の実施状況

事業名		開催日	入館者数 (人)	内 容
鑑賞事業	常設展 西伯耆の中世城館、米子の農家の昔の暮らし、昭和の小学校、昔の道具、大山の歴史、人形作家安部朱美氏制作「御幸（御輿行幸）」、鉄道資料寄贈速報展、新米子市指定文化財速報展ほか	通年 [4/14(火)～ 5/6(水)休館]	12,062	米子の近世から現代までの通史を展示する。常設展示の写真の展示替えをし、来館者によりわかり易い内容となるよう改善した。
	米子市役所旧館 90年の歩み	4/26(日)～ 7/5(日) 6/6(土)～ 7/26(日) [延期]	480	米子市役所旧館（現米子市立山陰歴史館）の竣工90周年を記念し、米子市役所旧館、山陰歴史館の歴史及び前館長杉本良巳の業績を紹介した。
	館蔵品展 I 絵葉書でお出かけ気分♪	8/23(日)～ 9/27(日)	509	近年山陰歴史館に寄贈された資料の中から絵葉書を紹介した。
	大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業 郷土のたたらと刀剣の歴史 主催：刀剣・たたら関連事業実行委員会 共催：(一財)米子市文化財団[米子市埋蔵文化財センター]	10/31(土)～ 11/29(日)	1,143	鳥取県西部ゆかりの刀匠「森脇正孝」の刀剣と、県西部から出土した古墳時代以降の刀剣・たたら関連品を中心に展示し、郷土に受け継がれている鉄の文化の歴史を紹介した。
	館蔵品展 “光” と “暖” の道具	12/20(日)～ 3/28(日)	1,060	山陰歴史館所蔵資料の中から、江戸～昭和時代の照明器具及び暖房器具を紹介した。
連携事業 令和2年度米子市立山陰歴史館・米子市文化ホール連携事業 第9回 米子歴史絵巻「因幡の麒麟獅子舞・因幡の傘踊り」	9/20(日)	176	鳥取県東部で継承される伝統芸能である国指定重要無形民俗文化財「因幡の麒麟獅子舞」及び、鳥取県指定無形民俗文化財「因幡の傘踊り」を上演した。	
教育普及事業	企画展関連講座 山陰歴史館見学ツアー	6/13(土)、 6/27(土)、 7/1(水)	37	企画展「米子市役所旧館 90年の歩み」関連事業として、山陰歴史館主任学芸員が米子市役所旧館（現米子市立山陰歴史館）の非公開部分などを案内した。
	企画展関連講座 米子市役所旧館と米子の近代建築	7/19(日)	37	和田嘉宥氏（米子工業高等専門学校名誉教授）を講師に迎え、企画展「米子市役所旧館 90年の歩み」関連事業として実施し、米子の近代建築について学ぶ機会を提供した。
	YONAGOマチノヒカリ★夏2020スタンプラリー 共催：米子市・米子商工会議所・米子コンベンションセンター	8/22(土)、 8/23(日)	203	米子市、米子商工会議所などと連携し、通常時とは違ったライトアップを実施するとともに、ライトアップスタンプラリーイベントを実施し、利用促進を図った。
	企画展関連講演会 刀剣フォーラム 主催：刀剣・たたら関連事業実行委員会	10/31(土)	112	企画展「郷土のたたらと刀剣の歴史」関連事業として、渡邊妙子氏（佐野美術館理事長）、荒井清志氏（春日大社国宝殿学芸員）を講師に迎えた記念講演及び、両氏と中田利幸氏（全日本居合道連盟鳥取県支部長）、中森祥氏（鳥取県地域づくり推進部文化財課）を交えたパネルディスカッションを実施し、郷土の刀剣について理解を深める機会を提供した。

事業名		開催日	入館者数 (人)	内 容
講演会・講座・ウォークなど	企画展関連事業 菊水フォーミング&鳥取県金属熱処理協業組合(とりねつ)工場見学 主催: 刀剣・たたら関連事業実行委員会	11/11(水)、 11/26(木)	38	企画展「郷土のたたらと刀剣の歴史」関連事業として、菊水フォーミング(米子市夜見町)及び鳥取県金属熱処理協業組合(とりねつ)(米子市夜見町)の工場見学を実施し、郷土に受け継がれる鉄の文化について理解を深める機会を提供した。
	企画展関連講座 刀剣展ギャラリートーク 主催: 刀剣・たたら関連事業実行委員会	11/15(日)	[★]	中田利幸氏(全日本居合道連盟鳥取県支部長)を講師に迎え、企画展「郷土のたたらと刀剣の歴史」関連事業として、郷土の刀剣について学ぶ機会を提供した。
	第47回 郷土の歴史教室「こども歴史探検隊」 主催: 米子錦ライオンズクラブ	8/1(土)～ 9/30(水)	25	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、市内小学生4～6年生を対象に、参加者が各自史跡を回り学習するウォークラリー形式をとり、郷土の歴史を学ぶ機会を提供した。
教育普及事業	民話のへや 共催: ほうき民話の会	5/17(日)、 7/19(日)、 9/20(日)、 11/15(日)、 1/17(日)、 3/21(日) [5月中止]	93	地方に残る方言で語られる昔話を楽しむ機会とした。(奇数月開催)学芸員が歴史館資料や調査資料の解説を行った。
	学校・公民館対応など 出前講座・出前授業	6/19(金)、 1/29(金)、 2/10(水)	45	統括学芸員による淀江公民館出前講座/12人 主任学芸員による出前授業 崎津小学校3年生/18人、五千石小学校3年生/15人
	体験学習受け入れ	通年	[472]	米子市内外の小学校3年生を受け入れた。小学校8校
	博物館実習・職場体験受け入れ	通年	[8]	博物館実習2件/2人・職場体験5件/6人
	米子市文化財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	3/27(土)	[1, 950]	山陰歴史館ブース「城主からの挑戦状 米子城×謎解きクイズラリー」 参加者160人 会場: 米子城跡三の丸広場
	米子市文化財団連携事業 わたを育てよう～身近な植物とお友達になろう～ 「第2回わたが布になるまで」	11/23(月・祝)	12	米子市児童文化センターと連携をし、館蔵資料を活用し事業を行った。

事業名		開催日	入館者数 (人)	内容	
教育普及事業	調査・整理・研究・保管	通年		資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。 資料の目録作成を行った。	
	鳥取県史編さん事業 古文書解説ボランティア月例会 共催：鳥取県立博物館	4/5(日)― 5/3(日)― 6/7(日)、 7/5(日)、 8/2(日)、 9/6(日)、 10/4(日)、 11/1(日)、 12/6(日)、 1/10(日)、 2/7(日)、 3/7(日) [4月～6月 中止]	64	鳥取県史編さん資料解説の事業支援を行った。	
	資料貸出	通年	[219点]	資料の貸出を行った。46件/219点	
	情報提供	Nゲージ展示運転、鉄道おもちゃ展示運転	21回	633	鉄道の町米子の歴史を、より気軽に知ってもらうため、市内鉄道サークルの協力を得て、鉄道模型の展示運転等のイベントを実施した。
		ホームページ・Twitterの更新	通年		歴史・資料の紹介やイベント情報の提供などを行った。
		問合せ対応	通年		米子市史などの問合せに対応し、情報の提供を行った。
図書等販売 企画展図録の発行など	通年		委託図書・図録・紀要などの販売を行い収入の一助とした。		
受託事業	皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務	通年		皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会より受託し、皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務を行った。年4回の展示替えを実施した。	
合 計			16,729		

[]の人数は除く
[★]は常設展または企画展の観覧者数に含まれる

収入実績

(円)

項 目	累 計	備 考
事 業 収 入	375,377	
観覧料	139,200	
冊子などの収入	6,600	
図書等販売収入	194,790	
図書等売捌き手数料	32,687	
資料利用料	2,100	

米子市立山陰歴史館の管理業務の実施に係る収支状況(令和2年度)			
収入(円)		支出(円)	
項目	金額	項目	金額
指定管理料収入	21,004,000	人件費	15,515,381
業務受託収入	2,199,664	館長(1人:非常勤)	
事業収入	375,377	副館長(1人)	
企画展収入	145,800	学芸員(1人)	
その他の事業収入	229,577	事務員(1人)	
		受付員(2人)	
補助金等収入	12,300	施設費	8,143,381
雑収入	3,760	旅費交通費	114,769
		通信運搬費	176,977
		手数料	121,902
		消耗什器備品費	185,500
財団繰入金	2,947,354	消耗品費	739,689
		修繕費	248,556
		印刷製本費	169,092
		燃料費	400,689
		食糧費	36,025
		光熱水料費	731,849
		賃借料	1,247,552
		保険料	51,673
		諸謝金	145,387
		租税公課	1,406,900
		支払負担金	76,153
		委託費	2,290,668
		施設事業費	1,376,133
		鑑賞事業	313,857
		教育普及事業	25,435
		資料整理事業	805,810
		情報提供事業	231,031
		事務局費	1,507,560
合計	26,542,455	合計	26,542,455